

1年道德通信

第14号

第14回『学習机』

第14回目の道德では、学習机を販売している新入社員の「私」が、電話対応での失敗から自分の行動のまずさを理解し、礼儀の大切さを自覚する話から、「人と関わる時に大切な礼儀の心」みついて考えました。“礼儀正しく”という言葉はよく耳にしますが、“礼儀”とはいったい何でしょう？挨拶・態度・マナー…礼儀と聞くとみんなからこのような言葉がたくさん出てきました。みんなが考えた“礼儀の心”とは、どんなものでしょう。今回もたくさんの意見の中から、少しですが紹介します。

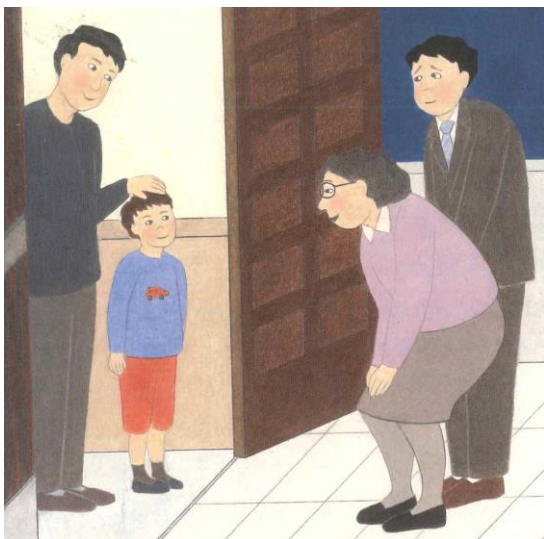
みんなの意見

大枝さんの涙を見た「私」は、どんなことを学んだでしょう。

- ・商品交換だけをするのではなく、お客様のことを思ってお詫びすること。
- ・人と関わる仕事には、責任がある。（軽い気持ちではお客様に悪い）
- ・「商品」としてではなく、「夢」として取り扱わなければならない。
- ・自分では少しのミスとしか思っていないくても、相手にはすごく大事なことだということ。
- ・お客さんの気持ちを考えて、軽い気持ちはダメだということを学んだと思う。ただ売るだけではないということ。

礼儀の心とは、どんなものだと思いますか。

- ・謝罪することで、全てが解決することではないけど、やはり反省している気持ちを見せたり、責任を感じているというのが伝わるのが大切だと思う。
- ・本当に思っていないと伝わらないと思うから、相手の目を見て話したり、表情で伝えるのが大事だと思います。
- ・ミスをしたら謝ったり、何かしてもらったりしたときに「ありがとう。」とか人に感謝できる心。



**礼儀とは、
相手を尊重する
気持ちの表れでは
ないでしょうか。**